**ハンドマイク街頭演説原稿例　　総選挙「４つのチェンジ」（その２）**

二〇二一年九月二十三日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　まもなく衆議院の総選挙が行われます。新型コロナからどうやって私たちの命と暮らしを守り、安心して暮らせる日常を取り戻していくかが問われる、文字通り命がかかった選挙です。日本共産党を伸ばし、市民と野党の共闘の勝利によって、新しい政治を実現しようではありませんか。比例は共産党、日本共産党へのご支援を、最初にお願いいたします。

　みなさん、９月８日には、日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組の野党４党と「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が、総選挙で自公政権を倒し、命を守る新しい政権の実現をめざす野党共通政策に合意し、各党の代表が署名しました。合意した政策は憲法に基づく政治の回復、科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化、格差と貧困の是正、地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行、ジェンダー支店に基づいた自由で公平な社会の実現、権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する、の六つの柱、２０項目の課題です。日本共産党は他の野党とも力を合わせ、この共通政策を実施する政権を実現するために、全力を尽くす決意です。野党の共同、共闘へのご支援を、よろしくお願いいたします。

　さてみなさん、日本共産党は自民・公明の政治からの「４つのチェンジ」を提案しています。一つ目は、「強きを助け、弱きをくじく」、「まずは自分でやってみて」という、新自由主義の政治から、国民の命と暮らしを最優先にする政治へのチェンジです。なんでも自助、自分でなんとかしろと国民に求めるような政治が、医療や公衆衛生の切り捨てや非正規雇用の拡大を進め、新型コロナに弱い社会にしてしまったことは、いまや明らかではないでしょうか。こんな政治を改め、医療、介護、保育などのケアを支える政治、人間らしく働ける職場を実現する政治に変えることを、日本共産党は提案しています。

　二つ目は、口先だけの「カーボンゼロ」から、気候危機打開へ本気の対策へのチェンジです。政府の二酸化炭素削減目標は他の国と比べてもあまりにも低すぎ、やる気がないと宣言しているようなものです。それに対して日本共産党は、２０３０年度までに二酸化炭素の最大６０％削減を提案しています。これは経済発展を抑え込むものではなく、むしろ新しい持続可能な経済発展に道を開くものとなるというのが、日本共産党の提案です。

　三つ目は、男女格差のひどい社会から、ジェンダー平等の日本へのチェンジです。女性だというだけで男性より低い給与が当然とされるような社会を変えようではありませんか。また、選択的夫婦別姓を実現し、同性婚を認める法改正、性暴力の根絶などをめざします。

　そして四つ目は、アメリカ言いなりの政治から、憲法９条を生かした平和外交へのチェンジです。核兵器禁止条約に参加し、核兵器のない世界をめざす運動の先頭に立つ日本を、ごいっしょにつくりましょう。

　比例は共産党、日本共産党へのご支援を重ねてお願いするとともに、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）